



## 子供の未来を見据えて

レインボー3兄弟



早いもので、子供たちが新しい学年に進級してから半年が経ちました。大きなランドセルを背負い、6年生にたくさんお世話をしてもらっていた1年生も自分たちでできることがたくさん増えました。子供は多くを吸収し、日々成長していることを感じます。

先日、脳科学者のお話を聞く機会がありました。現在の人の寿命は87歳とされているようですが、その対象となる人たちの育ってきた時代は今よりうんと不便で、医学も今ほど発達していなかった時代です。それに比べると子供たちの生きている時代はもっと便利で医学もさらに発達することが期待され、2007年に生まれた子の50%は107歳まで生きるとも言われているそうです。そう考えたとき、子供たちが未来社会を生きていくためには、どのような状況になろうとも自分で判断をし、行動する力をつけることが必要だと思います。子供たちが大人になったとき、65%は今はない仕事につくとも言われています。逆に言えば、今「将来〇〇になりたい。」と考えている子は35%の夢しか見ていないことになるそうです。ですので、子供たちは何になりたいかではなく、何をしたいのか、そんな思いを持たせることが大切だということです。

また、子供たちを成長させるためには子供同士の関わりが大切ともありました。昔は、親は子供の世話をせず田んぼの仕事などをしていました。しかし、子供は育っています。それは兄弟がお世話をしていたからです。つまり、子供の成長には子供の関わりが一番だということです。また、成長に繋げるために叱るより、褒めると言われていますが、この褒め方も大切です。例えば、絵を描くことが好きな子がたくさん絵を描いている時に、「上手だね。」「たくさん描いてえらいね。」と言うことがよくあります。しかし、この褒め方だと、子供は次から「上手に描かなくては」「たくさん描かなくては」と思い、絵を描くことが自分の好きなことではなくなっていくようです。また、褒める行為はどちらかというと相手より立場が上になるようです。ちょっとした声かけで子供の受け止めは変わることを考えると、子供を褒めるときはプロセスを褒める、褒めるよりも効果があるのは笑顔で感謝を伝えることだそうです。「この絵のここが私は好きだよ。」「見せてくれてありがとう。」こんな言葉を私たちは子供にたくさんかけ、子供たちの成長に繋げていこうと思います。

### 4年生青少年の家宿泊体験教室

9月26・27日の1泊2日で4年生が宿泊体験、「しおかぜ教室」を行ってきました。自分たちで計画し、考え、実践した2日間で、とてもたくましく成長しました。



# 前期終了・後期スタート



## 前期終了学年集会

10月11日は前期最後の日。これまでの生活を振り返りました。この集会は学年ごと、子供たちが企画しました。どの学年もお互いの頑張りを認め合いながら、後期も頑張ろうという意欲を感じました。



## 後期始業式

10月15日に後期始業式を行いました。どの子にも式へ臨む姿勢が整っており、よい緊張感の中での式となりました。校長先生からは「さらに磨きをかけかがやくステージしましょう。」とお話がありました。1,3,5年の代表児童から後期に頑張りたいことの発表がありました。全校児童の前で堂々と発表し、その言葉を真剣に聞く児童の姿も立派でした。

